

第2回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【1】開催

日 時：平成26年10月28日（火）14時00分～14時35分

場 所：稲毛保健福祉センター 3階 大会議室

出席者：委員定数 30人

出席委員数 24人

事務局 8人 オブザーバー 2人

【2】次第

- 1 開会
- 2 稲毛保健福祉センター所長挨拶
- 3 委員長挨拶
- 4 事務局紹介
- 5 議題

（1）第3期稲毛区地域福祉計画（案）について

事務局より概要と各地区から選定された重点取組項目について、資料をもとに説明があった。質疑・意見等なく、承認された。

（2）第3期千葉市地域福祉計画（案）市民説明会について

千葉市地域福祉課西村係長より、資料をもとに市民説明会開催についての説明があった。稲毛区では11月8日の午前中開催、区計画も含めた説明を予定しており、一般の市民の方への周知を推進協委員に呼びかけた。

（質疑）

委 員：市の計画の説明会というが、稲毛区で開催するなら一般区民の方に稲毛区のプランについて重点的に説明すべきではないか。

事務局：今度の計画は6区の計画を含めたものである。市の計画については今後、市民の皆さんの意見をいただきながら練り上げていく必要があるため、市計画と区計画を含めた説明の場となっている。

委 員：近くの人を誘ってくださいということだが、手話通訳も含めての定員と考えてよいか。また、市政だよりには掲載されるのか。

地域福祉課：手話通訳はこちらで手配させていただく予定で、手話通訳を入れた定員となる。市政だよりには、11月1日号に掲載予定である。

委 員：質問ではないが、11月8日というのはかなり日が迫っている。もっと早く市民の方に知らせていただければと思う。

地域福祉課：その他の媒体でも機会を見つけて周知していたつもりだが、推進協委員の皆様には本日お知らせすることになってしまい、遅くなり申し訳ない。

(3) 支え合いのまち稲毛（区推進協議会だより）について

事務局より、掲載記事案の説明があった。掲載依頼のあった轟・穴川地区のサロンについて取材した内容と、計画の周知について、委員に確認を求めた。

(質疑)

委員長：発行はいつか。

事務局：11月中下旬を考えている。

委員：大事な計画を配布するのに、名簿のスペースは足りないのでは。地域では誰が委員になっているか皆知っている。折角計画のことを広報するのだから、ここに5つの基本方針を入れるなど、計画の内容を盛り込んだ方がよい。

11月8日に説明会があるのに、なぜ配付が11月中下旬となるのか。もう少し計画を重要視して欲しい。

先ほど千葉市のプランだと説明されたが、他の区がどのような計画を作っているのかなど、何もわからない。他区の会議に出ている委員長から6区の計画の情報を聞かせて欲しい。

地域福祉課：他区の計画の資料を持参していないので本日お話できないが、説明会には6区の計画の資料をお渡しするので、ぜひ説明会に参加していただきたいと思う。

委員：広報紙の作成主体は、事務局なのか広報委員なのか。広報委員であれば、広報委員の主体的な動きで協議していただければよいと思う。

また、事務局や委員長が他区の状況を知ることができるのなら、会合で出た話題を会議中に5分でもレポートされれば、委員の疑問も解消されるのでは。

事務局：残念ながら、他の区の計画内容を知り得る機会は、委員長も区事務局にもない。地域福祉分科会で顔を合わせることはあるが、別の議事の協議を行う場である。

委員：委員としてここに出席している人は知っているが、地域住民が皆わかっているとは言い難い。名簿は掲載すべきだろう。この小さな枠に基本方針5つが載せられるのかも疑問である。

事務局：今いただいたご意見について、3人の広報委員と協議の上、結論を出すということではよろしいか。

(承認)

事務局：次回の会議の開催予定日は追って早めにお知らせする。

委員：参考までに広報紙の配付の範囲は。

事務局：配布先は町内自治会様と市民センター等で、4,000部ほど印刷する予定である。

6 閉会

次回の区推進協議会は12月に開催を予定している旨を伝えた。

事務局が閉会を宣し、第2回稲毛区福祉計画推進協議会は散会。